グリーンたいむ

2012-11月 vol.143

発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと
http://greencoop-kumamoto.jp/

身近な人に誘われてグリーンコープの仲間になりました

「元気なグリーンコープを推進していくために、1人でも多くの仲間を迎えよう」と、いろいろな仲間づくりの取り組みや声かけがすすめられています。
今回は、加入されたばかりのホヤホヤの組合員3人をご紹介します。
3つの質問に応えていただきました。
①加入のきっかけ、決め手は？
②選んだ利用システムは？
③加入しての感想、お気に入り商品は？
「身近な人からのひと声」が仲間づくりのきっかけになります。みんなで仲間を増やしましょう。

キープステーションで

県央西　廣田 美由紀さん

①知人に誘われて、西部センターキープステーションのリニューアルオープンイベントに参加しました。以前から安心・安全な食べものを食べたいと思っていて、今回グリーンコープのことを初めて知り、加入を決めました。
②西部ステーションの前をいつも通るのでキープにしました。
③牛乳…これなら飲みたい。たまご…スーパーでは、いいたまごの決め手がわからなかったが、グリーンコープのなら安心して食べられる。肉…臭みがないと聞いたので今度注文してみたい、と思います。

プチカフェで

県 北　坂上 あやこさん

①幼稚園のママ友宅で、プチカフェが開かれ参加しました。グリーンコープのことは、内容もよく知らず「高い」というイメージがありました。今回牛乳の栄養素の話を聞いて、子どもにはいいものを食べさせたいと思い、加入を決めました。
②そのプチカフェに参加した３人で班を作りました。びん牛乳も２本予約して利用しています。
③たまご生産者の視察や豚肉の試食などを通して、市販品との違いや美味しさを実感しています。

ウェルカム企画で

県央東　原 江里子さん

①小さい時からグリーンコープが大好きな母の暮らしぶりを見ていたので、ずっと入りたいと思っていました。今回、熊本へ引越してきて、友だちに誘われて参加した料理教室で、牛乳のレンネット実験を見、カルシウムやたんぱく質の吸収率がこんなにも違うと知りました。それを見ていた子どもが「背が高くなりたい！」と喜んで飲み「美味しい！」と。それがきっかけとなり、私もやっと加入することができました。今は、週に牛乳を10～11本飲んでいます。
②班配達です。たくさんのびん牛乳を運んでもらえるのは、とても助かります。
③グリーンコープの介護事業所の食事は安心・安全なので、母の住む合志にも作ってほしいです。

小国でも

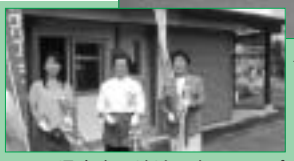
阿蘇 小国町にも多くの仲間が誕生しました

❖9月18日（火）小国町キープステーション オープン❖

▲小国町キープステーション全景

▲来場者にグリーンコープの紹介や加入説明をする様子

オープンに先立ち、９月12日、15日の両日、「グリーンコープ商品の試食・説明会」を開催しました。50名を超える参加者があり、早速40名の方がグリーンコープの仲間に！
小国にお知り合いの方がいれば是非紹介を！



▲県央東の地域理事とキープ担当者によるテープカット

グリーンズカフェを開催しました

「助け合い・支えあう仲間を増やし、地域とつながろう」をテーマに、2012年度グリーンズカフェ（組合員のつどい）を開催しました。

くまもとにある全37地区主催のグリーンズカフェは、お店を含む延べ89会場で開催されました。その他、キープステーションでのグリーンズカフェ、ミニグリーンズカフェ、班会なども開催され、たくさんの組合員やまだ組合員でない人が集いました。

会場では、各地区趣向を凝らした内容で開催し、参加者それぞれが声を出し合い、グリーンコープの今、そして未来について語り合いました。

平成地区　9／29　会場：平成さくら通り店　お店

平成さくら通り店では、1週間に渡って開催。平成地区が担当した29日は土曜日ということもあり、ご夫婦やファミリーで来店されている方が多く見られました。

店内では来店者へ「新商品の試食をどうぞ」と委員が声をかけ、テーブルへと案内。あらかじめ用意した「グリーンコープのお肉を利用されていますか？」など3項目のアンケートに答えてもらい、試食を食べながらその内容に沿って話をすすめました。その他、新商品の紹介やまもなくクリスマスケーキが登場することなども案内しました。

お店の外ではジョイ企画としてフリーマーケットが開催されていました。

参加者にグリーンコープ商品（産直野菜やお菓子など）の入った籠からひとつをプレゼント

再び売り場に戻ってくるほど好評だった試食の冷凍生水餃子↓

店内のグリーンズカフェのコーナーで試食をしながら会話を楽しむ組合員と峠坂副委員長（左）、中島委員長（左から2人目）

鹿本地区　10／10　会場：鹿本ステーション　ステーション

鹿本地区では、初めてキープステーションでミニグリーンズカフェを開催。委員とワーカーで試食や今後の取り組み予定のチラシを準備して、商品の受け取りが多い午後4時30分から1時間程度行いました。

商品を受け取られる合間に、一口大に切った委員手作りの豚モモ肉の炭酸煮と煮卵を試食してもらい、産直豚肉のおいしさをアピールしました。

また、地区の取り組みやセンターまつりの案内も行い、催しへの参加を呼びかけました。

キープ組合員も足を止め、試食を楽しみながら委員の話に耳を傾けていました。

「新鮮な卵がほしいから利用しています」と近隣のレストランでシェフをされている組合員

試食の柿と豚モモ肉の炭酸煮と煮卵。「柔らかくてとってもおいしい」と好評！

試食を勧めながら産直豚肉のおいしさや取り組みの案内をする高田委員長（左から2人目）と森川副委員長（最右）。

八代南地区　10／18　会場：麦島公民館　県南

しおりに沿ってすすめられ、委員長や委員が産直畜産物や開発商品などの利用を呼びかけました。また、八代女性市民の会の中村さんが、代理人の働きかけにより、乳幼児医療の手続きがとても簡単になったことを例に出され、「女性ならではの視点・生活に密着していることが大切。私たちは微力だけど無力ではない。生活は政治と実感する」と話しました。

組合員になってまだ間もない方は、「子どもがアトピーなので、安心・安全が気になっている時にグリーンコープを知った。お肉もおいしかったし、いろいろ注文してみたい」と話され、また、友だちに誘われて参加したまだ組合員でない方は、「味噌がおいしく、それがnon-GMOの大豆で作られているのを知って注文してみたいと思った」と、興味を持って話を聞かれていました。

一部の商品を置くようになった県南キープステーションについて、「買い忘れた調味料などが買えます。見学がてら是非行ってみてください」と話す重野委員長（中央）

紙芝居を用いて代理人運動について分かり易く説明する八代女性市民の会の中村さん（右）と浜田さん

「グリーンストックを応援している。先日の事故後どうなったのか、報告が聞きたい」と話す組合員

「免許がないので宅配のシステムは便利」と加入についての説明を専従職員から聞く未組合員

上益城地区　10／17　会場：グリーンヒルみふね　県央西

委員長、活動委員が、産直畜産物、開発商品、脱原発の取り組みとして風力発電や太陽光発電に取り組むことなどを紹介しました。また、レンネット実験を行って、実際にびん牛乳の特長を目で見てもらいました。

豚肉の利用が少なく緊急事態という話を聞き、各テーブルではカタログを広げながら豚肉の利用について話し合いました。

会場には昨年のグリーンズカフェに参加して、福祉活動組合員基金のことを知り、今年度助成申請して助成が決定したグループの組合員や、まだ組合員でない方も数名参加。組合員からは「いろいろな取り組みに参加しているが、毎回毎回、知らなかったことを知ることができ、それが注文につながっている」などの感想が出されました。

「産直畜産物のモニターになって、アンケートに素直な思いを書いて、グリーンコープに物申す組合員になってください」と話す高濱委員長

「グリーンコープっていろんなことをしているんだなと思った」と話すお父さんも一緒に参加の未組合員ファミリー

「環境やこれからの子どものためによく考えている生協だなと思った。早速加入する」と話す未組合員

「とてもわかりやすかった。来てみてわかったことがたくさんあった」など試食をしながら楽しく交流する参加者

帯山・月出地区　10／2　会場：市・青年会館　県央東

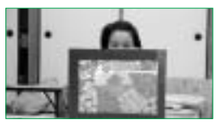
牛乳のレンネット実験からスタート。渡辺委員長や活動委員長が、しおりに沿って取り組みや産直畜産物を紹介。「組合員が食べたいといって始まった産直畜産物、1パック買って買い支えにご協力を」とアピールしました。

くまもと生活者ネットワーク代表の三島さんが、紙芝居を用いて代理人運動についてわかりやすく説明しました。

その後、サイコロをふって出たお題について話すフリートークの時間がもたれ「最近気になること」のお題を引いた組合員からは、「最近空気が乾燥してきたなーと思う。そこで、はちみつ入りのお風呂のしゃぼんと桜ゆららを使ったらとっても肌が潤った。髪にはセラセーヌがとてもよかった。気になったことが全部グリーンコープ商品で解消できた」と話すなど、いろんな話で盛り上がりました。

グリーンコープの牛乳がいかに生乳にちかく、消化吸収のよいカルシウムやたんぱく質が熱変性を受けずにたくさん含まれているかをみんなでレンネット実験を行って確認

今、力を入れて取り組んでいるキープについて話す長嶺店のワーカー宮島さん（左）と緒方さん


一人ひとりの小さい思いが実現されることが幸せになること。そんなゆめの実現のために代理人運動があると話す三島さん

ボリューム満点のマーボー豆腐丼などの試食を食べながらフリートークを楽しむ参加者

荒尾地区　10／4　会場：荒尾市中央公民館　県北

松尾委員長から「組合員の豚肉の利用が非常に落ち込んでいる。中身を知ればこの価格で買えることに驚くはず。今日は、試食も準備しているので、味わってこのよさを多くの人に伝えてほしい」と挨拶。委員から、サンファーム視察報告や産直畜産物、びん牛乳のよさ・おいしさ、キープの取り組み等を伝えました。

その後、試食を食べながら3班に分かれて座談会を行い、新米組合員からベテラン組合員までみんなで楽しく語り合いました。

「生協が立ち上がったころからの先輩のお話をたくさん聞くことができた」「遺伝子組み換えの紙芝居を見て、調味料もグリーンコープにしたいと思った」などの感想が出されました。

遺伝子組み換えがどういうものであるかを紙芝居にして分かりやすく紹介する委員

「今まであまり交流ができていなかったが、地区のみなさんがすごく勉強しているのに感心した」と話すお店のワーカー甲斐さん

「キープが新しくなります。まつりもあるので是非来てください」と呼びかける配送のワーカー日野さん

好評の豚肉マリネなどの試食を食べながら組合員みんなで座談会。いろんな話で盛り上がった参加者

作る人と食べる人　顔の見える関係

産直交流

グリーンコープは食べものの安心・安全と、農業の安定性と持続性を大切にしています。私たち組合員が、安心・安全な食べものを望むだけでなくそれをしっかり利用することで、生産者の安定が得られ、持続していくことができます。

生産者と組合員がお互いをより身近に感じあえるよう、毎年、熊本にある米・青果生産者と組合員との産直交流を行っています。今年もたくさんの生産者と組合員が出会い、交流しました。

県北地域本部

《青果産地》佐伊津有機農法研究会　ぶどう＆さつまいも収穫体験バスツアーin天草

8/24

◆さつまいも畑では、子どもたちが掘りやすいようにツルや葉が取り除いてあり、ぶどう畑では、手の届かない小さな子どもを抱っこして自分の手で収穫をさせてくれるなど、生産者の方々の心遣いが、とてもありがたかったです。
◆生産者の方と交流し、お話を聞くことで、この人たちが作っている野菜や果物なら、本当に安心して食べられると実感しました。

《米産地》ＪＡ阿蘇小国郷　レッツゴーたんぼ　バケツ稲

5/22 スタート

◆５月22日に県北の理事委員研修で、ＪＡ阿蘇小国郷の田植えに参加し、帰宅後バケツ稲づくりをスタートしました。
◆途中、梅雨や豪雨、台風と天候の悪化に心配することもたくさんありましたが、苦労の甲斐あって（？）無事お米が実りました。とてもよい経験となりました。

県央西地域本部

《青果産地》御岳会　welcome　御岳会収穫体験

8/2

◆梅雨の長雨でレタスは全滅とのことで、サニーレタスとチンゲン菜を収穫しました。
◆こどもピーマンは、はさみを使わずに収穫。生で食べてもおいしい！と子どもに大好評♡
◆小松菜はハウスで収穫。ハウス内はとても暑く、日頃の作業の大変さを実感しました。
◆子どもたちは普段体験できないことができて、夏休みのよい思い出になりました。

《米産地》ＪＡ上益城清和　レッツゴーたんぼ　田植え

6/9

◆最初は田んぼに入りたがらなかった子どもたちも、生産者の方に手を握ってもらって入ることができました。
◆昼食交流会では、婦人部の方が作られたご飯を食べながら会話を楽しみました。
◆クイズでは生産者の方に話を聞き、子どもたちが真剣に解いていたのが印象的でした。

県央東地域本部

《青果産地》阿蘇小国郷 産直の会　阿蘇小国郷 産直の会 収穫体験＆交流会

7/29

◆こどもピーマンも小さな大根もたくさん実っていて、好きなだけ収穫できました。昼食でピーマンを早速焼いて食べました。
◆お父さんの参加も多く、家族揃っての収穫体験はよい思い出になりました。
◆帰りにいただいた、育ちすぎて販売できない小松菜のお土産がうれしかったです。

《米産地》ＪＡ阿蘇阿蘇町　レッツゴーたんぼ　稲刈り

10/13

◆素晴らしい阿蘇の雄大な山並みを見ながらの稲刈。７月の豪雨では阿蘇内牧地区は甚大な被害を受けましたが、交流田の稲は大雨にも負けず力強く実っていました。
◆○×クイズやバケツ稲コンテスト、生産者の方々とあか牛モモ丸焼きや野菜いっぱいの３種類のちゃんこ鍋を食べるなど、楽しく交流しました。この体験は心のアルバムの素敵な１ページになりました。

県南地域本部

《青果産地》やまびこ会　やまびこ会れんこん収穫体験

8/2

◆れんこん畑は水圧で土を掘り起こし、葉や茎も取り除かれて、すぐ入れるようにしてありました。
◆最初畑に入るのは、大人も子どもも勇気が必要でしたが、入ってしまえば泥まみれの笑顔で、時間が経つのを忘れて楽しみました。
◆れんこんクイズ、収穫表彰式、おいしいれんこん料理と、大いに楽しみました。

《米産地》ＪＡ上益城矢部　レッツゴーたんぼ　草取り

7/9

◆６月に植えた苗は、30㎝位に成長していました。水を張った田んぼにはいろんな生き物がいて、稲と同じ位の丈の草がありました。
◆１人４列を担当し、生産者から、根から抜き取る草と浮き上がらせる草の説明を聞いて作業開始。田んぼで腰を曲げての草取りは初めてで、大変な重労働でした。
◆草取りの大変さを体験できたことで生産者の苦労を実感しました。

産直畜産物シリーズ　第５弾

広々鶏舎で のびのび飼育

産直若鶏の巻

グリーンコープの産直畜産物は、生産する人、食べる人が顔の見える関係だからこそ実現した、安心・安全でおいしい「食べもの」です。

今月号では、いずみ・平成・金峰３地区合同で開催した、親子企画「若鶏パーティー」に、講師として招かれた大矢野原農場の日永さんご夫妻の話から、安心・安全で、おいしい産直若鶏を育てる様子をお伝えします。

産直若鶏のおいしさはココから！

大切に育てています

●開放鶏舎でゆったりとした中、鶏たちは日向ぼっこをしたりして、のびのびとしている。よく運動をするので身が締まってくる。一般より長く飼育し、60日で３キロ位になり出荷、その後30日かけて鶏舎内の掃除をする。

●鶏舎には、日田産の杉や檜のチップを敷き詰め、暑い日にはファンを回し霧を出す。寒い時には、ガスで鶏舎を温めている。

エサがちがう！

●エサはもちろん、遺伝子組み換えをしていない飼料。

●７月より、国産穀物（飼料米）の配合比率を５％から20％に増量。いくらか肉の色が白くなり、肉質も少しやわらかくなっているように感じる。

くすりに頼らない、健康で強い鶏に！

●鶏にとっては環境が良いことが１番重要。一般は１坪に50羽育てているが、グリーンコープは35羽で密飼いはしていない。また乳酸菌を与えることで、アンモニア臭も抑えられる。

●抗生物質などのくすりも使っていない。一般では病気予防もあるが、太らせることを目的にエサに入れられていることもある。

●元気で健康な鶏にするために、抗生物質に頼らず、ニンニクを食べさせて風邪にかかりにくくしたり、納豆菌を与えてお腹の環境を整えている。

「命をいただく」ことを実感！

さばきが始まると思わず「痛い!」と声を発した子どもも。真剣に見入り、その後、おいしくいただきました。

◀養鶏の話をする日永さん

大矢野原農場　日永さん夫妻

熊本県山都町、標高600mに位置する地域で、年間20万羽の若鶏と10種類以上の加工品を生産し、グリーンコープに出荷。農場の敷地内に加工場があり、妻のヤス子さんが責任者となって加工品を製造している。学習会などにはいつも２人揃って参加されている。

さばき実演と調理をするヤス子さん▶

若鶏炭火焼はお買い得！

10人中8人がおいしい！と評価。セセリが入った炭火焼は一般にはないのでお買い得！

利用普及推進委員会発 No. 5

私のおすすめ 産直若鶏レシピ

なんちゃってチキン南蛮

鶏ムネ肉でできる!
パサパサしなくて
とってもおいしい!!

材料　4人分

- 産直若鶏正肉ムネ……500ｇ
- A
  - こいくち国産丸大豆醤油‥大さじ２強
  - 純米料理酒……大さじ２強
  - 海水塩なぎさ……少々
  - しょうが汁……小さじ２
- 片栗粉……適量
- 純正ごま油……適量
- 元気な卵のマヨネーズ……適量

●甘酢ダレ

- 海水塩なぎさ‥小さじ1/2
- 奄美きびさとう‥大さじ２
- 純米酢……50ml
- 水……大さじ２
- 白ねぎみじん切り‥‥適量

作り方

①ムネ肉をそぎ切りにして、Ａにつける。
②①に片栗粉をまぶし、ごま油で焼く。
③皿に盛り付け、甘酢ダレをかけ、マヨネーズをかける。

九州北部豪雨災害義援金を熊本県に届けました

グリーンコープは、７月に発生した九州北部豪雨により被害を受けた方々への支援募金を組合員に呼びかけました。集まった募金は、被害を受けた産直生産者や取引先、被災した地域（福岡県、大分県、熊本県）にお届けすることになりました。

８月30日に「被災された方のために大切に使ってください」と、熊本県に400万円を届けました。

写真左から、沖仲副理事長、牧理事長、村田信一副知事、河添専務

from ネグロス　クリスマスカンパにご協力ください

小さな力を寄せ合って大きな力に

グリーンコープは、ネグロスの子どもたちを飢餓から救うための緊急カンパに賛同して以来26年、支援、連帯を続けています。

現地からは「ネグロスに平和、希望を与えてくれた」と感謝が寄せられています。

現在は農民の自立も進み、家族型農業、産直活動などが着実に広がり、ネグロスから発した支援、連帯の「輪」、そして豊かな経験は、「from ネグロス」として、アジア各地へとつながっています。組合員から寄せられたカンパもまた、アジアの大きな力となっています。

479　1口　200円　　**480**　1口　500円

36号、37号の注文書にご記入ください！

from ネグロス組合員ツアー

９月13日～９月18日
東ティモール　訪問

東ティモールでは、コーヒーだけに頼らない地域づくりに生産者が取り組み始めています。食糧事情は厳しく、主食を輸入に依存している状態が続いています。１杯のコーヒーが生きていくことの支援につながることを実感してきました。これからも利用し飲み続けていきましょう。

単協理事　手島　真理子

コーヒー生産者グループ「フィトゥン・カイタノ」の皆さんと

福祉委員会

最期まで私らしく No. 3

グリーンコープの葬祭事業

■その人らしいお葬式をするために■

身内の「死」はとても悲しくショックなことです。ゆっくりお別れしたいと思っても、目の前にあるお通夜や告別式の詳細を決めなくてはいけません。

どんな風におくりたいのかイメージがないまま打ち合わせをすると、葬儀社のペースになりがちです。

「お別れコーナーを作りたい」「好きだった曲で見送りたい」「お花は…」等、自分の望むプランがあれば、打ち合わせの時に伝えましょう。「こんなことを言ったら変かな…」そんな遠慮は無用です。できれば、家族や親戚、親しかった人に打ち合わせに一緒に参加してもらって心残りのないように伝えることが大事です。

一度、自然庵の「野の花」でランチをして、ちょっと会場をのぞいてみませんか？色んなイメージが出来ると思います。

（12月号へつづく）

わたしのグリーンコープ運動

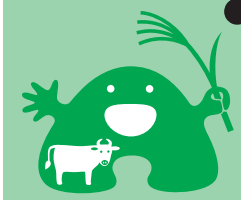
一歩踏み出して、楽しい組合員活動を始めてみませんか！

商品開発推進委員長
手島　真理子

組合員になりたての頃、地区で開催されたメーカー講師による料理教室「子どもと一緒にクリスマスケーキを作ってみませんか」に参加した。初対面にもかかわらず、みんなで賑やかにちょっとした生活の知恵や素材の活かし方を教え合うなど、学ぶことがいっぱいでわくわくしながら一緒にケーキを作った。短い時間だったけれど女学生に戻ったようで本当に楽しかった。それがきっかけで組合員活動を始めた。コミュニケーション委員から利用普及、そして商品開発と担いは其々あったけれど、これまでに、多岐にわたるグリーンコープ運動を体験してきた。たくさんの人たちとの出会いは気づきを与えてくれて考えることにつながり、そしてそこからまた学ぶ。いまではとても豊かな組合員活動になっている。皆さんも一歩を踏み出してみませんか。

料理教室に参加して料理を楽しむ組合員

● 阿蘇草原再生募金にご協力をお願いします ●



広大な草原の景観・生物多様性・九州の水を守り、草原維持の担い手やあか牛を育てる。そのために、グリーンコープは「阿蘇草原再生募金」に積極的に取り組みます。

9370 阿蘇草原再生募金 一口 200円

〈募金の方法〉
注文用紙の特別申込欄にご記入ください。
毎週同じ番号で募金を受け付けます。

9371 阿蘇草原再生募金 一口 500円

募金状況：26号～29号 29,900円　累計 3,748,200円

GCくまもと 独自品

くまもとのおいしさを お届けいたします

●申込書提出日：11月26日(月)～12月 1日(土)
●配　達　日：12月10日(月)～12月15日(土)

ご注文は36号注文書で！
特別申込欄に4桁の注文番号をご記入ください。

●Lives くめだ薫

「いのちの唄を歌いたい」そんな想いを詰め込んだミニアルバムです。

グリーンコープの組合員活動を長く経験した著者が、自身の音楽経験を生かし、たくさんの人たちとの出会いの中で湧き上がった想いを詩とメロディーにのせ一枚のCDにしました。すでに購入された方からは「感動した」「自然と涙が出てきた」などの感想をいただいています。
このCDの売上の一部を、(財)抱撲館を支える会及び共生地域創造財団に寄付させていただきます。

自主制作CD Lives CD1枚
全5曲（収録時間 23分52秒）
1500円（本体価格1429円）
9855 月1回

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」（豆）

150g
798.00円（本体価格760円）
9366 月1回 豆

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」（粉）

150g
798.00円（本体価格760円）
9367 月1回 粉

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」（ドリップ式4回分）

8g×4
350.00円（本体価格334円）
9368 月1回 ドリップ式

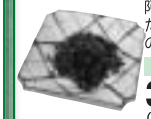
●ブルーベリージャム

蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。
180g
472.50円（本体価格450円）
9353 月1回

●こいくちしょうゆ

旨み成分たっぷりの本醸造醤油。ブラジル産nonGMO脱脂加工大豆使用。
1.8リットル
567.00円（本体価格540円）
9362 月1回

●たかなめしのぐ



阿蘇地方で栽培された「阿蘇たかな」を本漬けし、生協指定の調味料で味付け。
200g
399.00円（本体価格380円）
9357 月1回

●完熟トマトジュース

阿蘇一の宮産のトマト「桃太郎」を原料に、1本に約12個を使用。
1リットル
787.50円（本体価格750円）
9359 月1回

●釜炒り矢部茶（農薬不使用）

矢部町の通潤農園で栽培された茶葉を使用。
100g
567.00円（本体価格540円）
9354 月1回

●しょうゆの実

阿蘇一の宮産の大豆と生姜などで作りました。そのまま食することができるもろみです。
230g
504.00円（本体価格480円）
9358 スポット

●黒大豆入り味みそ

原料価格の高騰により今回より値上げです。

お詫び
これまで容量を180gと案内していましたが、お届けは200gでしたので今回より修正しています。
200g
483.00円（本体価格460円）
9364 スポット

●なたね油

国産（一部オーストラリア産）の種子を圧搾法で搾り、湯洗いのみで精製。
1.65kg
981.75円（本体価格935円）
9363 月1回

●国産紅茶（農薬不使用）

水俣の山間地で無農薬栽培された緑茶用茶葉を使用。
80g
472.50円（本体価格450円）
9355 月1回

●支援コーヒー（豆）

200g
829.50円（本体価格790円）
9360 月1回 豆

ブラジルのジャカランタ農園でつくられた有機栽培コーヒー。
チェルノブイリ原発事故による病気で苦しむ子どもたちへの救済カンパ100円が含まれています。

●支援コーヒー（粉）

200g
829.50円（本体価格790円）
9361 月1回 粉

組合員の声をお聞かせ下さい お届け先は下記住所まで

編集後記

父の七回忌法要を家族だけで執り行った。入院中の母も一時退院で席に付き、この春生まれた孫も新メンバーとして顔を揃えた。生前は家庭的な人ではなかったが、チャンと家族が揃う場を用意してくれていた。「感謝！」。
そして、当日もう一つ盛り上がった？のが、会食用に準備した平成さくら通り店惣菜部のオードブル。全員（とりわけ男性人）が「おいしい！」と、ほぼ完食。早くから準備されたワーカーさんにも感謝。（渡辺）

もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか？
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100
開設曜日…月曜～金曜
第3週は月曜～土曜
開設時間…9時30分～18時

ふくし情報でんわ
フリーダイヤル 0120-540-294
FAX 096-338-4251
開設曜日…月曜～水曜(祝日は休み)
木,金曜は留守電対応
開設時間…午前10時30分～午後4時30分
携帯電話の方は 096－337－7226

グリーンコープ葬祭サービス
24時間受付・年中無休
フリーダイヤル 0120-222-782
グリーンコープの目指す葬祭事業の理念や意向に共鳴いただいた「自然庵」との共同事業です。県内全てお伺いします

GREEN くらしアップ情報誌「くまもと」
フリーダイヤル 0120-51-8141
住宅リフォーム、エアコンクリーニング、引越しなどについてはお気軽にご連絡下さい

発行　グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任／理事会
編　集／機関誌編集室
発行所／〒860-0056
熊本市西区新土河原2丁目1-1
☎ 096-324-8118㈹
FAX 096-324-8123
印 刷 所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部	12,989名
■県央東地域本部	25,910名
■県央西地域本部	16,781名
■県南地域本部	7,566名
合　計	63,246名

(10月20日現在店舗組合員を含む)

グリーンコープくまもとのホームページ（http://greencoop-kumamoto.jp/）に最新情報更新中！
是非アクセスしてください。スマートフォンは、こちらのＱＲコードよりアクセスできます。→